

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00D00F0K01 > < CRA3044-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ
製品の配置を考える — 5ページ

② 接続する

接続の前に知ってほしいこと — 6ページ
接続端子のなまえと働き — 8ページ
システムの接続 — 10ページ
「ND-B3」「ND-ETC1」
TVモニターの接続 (1) — 12ページ
「TV-W8800」
TVモニターの接続 (2) — 14ページ
「AVX-P7000W」
TVモニターの接続 (3) — 16ページ
「AVX-P7000CD」
TVモニターの接続 (4) — 18ページ
「TVM-W8000」
TVモニターの接続 (4) — 20ページ
「他社のモニター」
電源コードの接続 (1) — 22ページ
電源コードの接続 (2) — 24ページ
VICS/FM多重アンテナの接続 — 26ページ

③ 取り付ける

取り付けの前に知ってほしいこと — 28ページ
ナビゲーション本体の取り付け — 29ページ
GPSアンテナの取り付け — 36ページ
リモコンの取り付け — 38ページ
マイクの取り付け — 40ページ
音声認識コントローラーの取り付け — 41ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

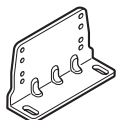
接続の確認と
センサーリセットを行う — 45ページ

接続・取り付け部品を確認する

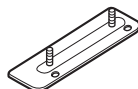
ナビゲーション本体関係



① ナビゲーション
本体 × 1



② 取付アングル × 2



③ 取付ベース × 2



④ 粘着テープ × 2



⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4



⑥ 座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4



⑦ タッピングネジ
(6 × 16 mm) × 4

GPSアンテナ関係



⑧ GPSアンテナ × 1



⑨ 金属シート × 1



⑩ クランパー × 5

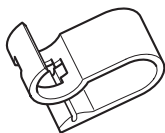


⑪ 防水パッド × 1

マイク関係



⑫ マイク × 1



⑬ マイククリップ
× 1



⑭ 両面テープ
(20 × 16 mm) × 1

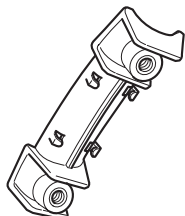


⑮ クランパー × 5

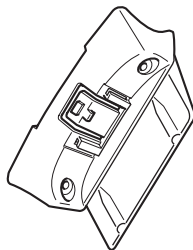
音声認識コントローラー関係



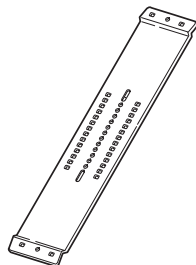
⑯ 音声認識
コントローラー × 1



⑱ インナーホルダー
× 1



⑲ アウターホルダー
× 1



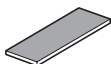
⑳ ベルト × 1



⑰ リチウム電池
(CR2032) × 1



㉑ 六角穴付きネジ
(3 × 6 mm) × 2



㉒ マジックテープ大
(やわらかい方) × 1



㉓ マジックテープ小
(かたい方) × 2



㉔ 六角レンチ × 1

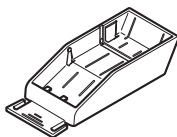
リモコン関係



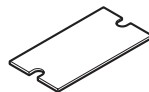
㉕ リモコン × 1



㉖ 単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2



㉗ リモコン
ホルダー × 1

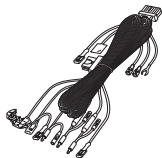


㉘ 両面テープ
(57 × 34 mm) × 1

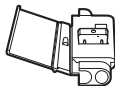
接続・取り付け部品を確認する

つづき

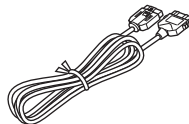
コード関係



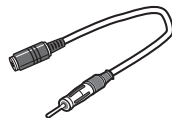
②⑨ 電源コード
× 1



③⑩ Uエレメント
コネクター × 1



③① 携帯電話接続
ケーブル × 1

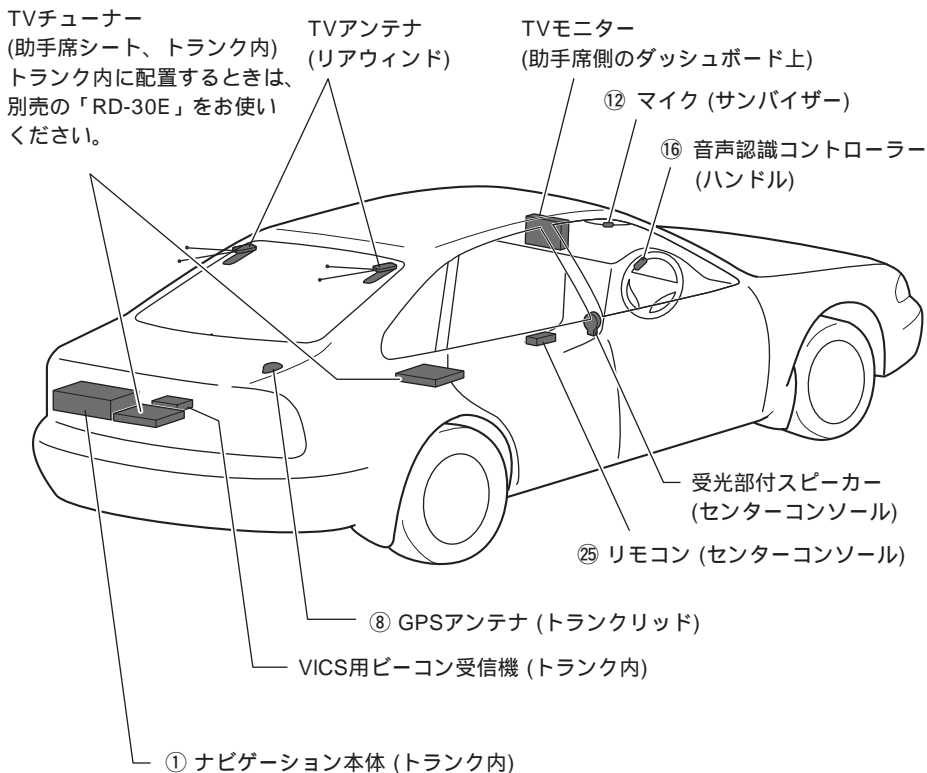


③② ミニプラグ
JASOプラグ変換
ケーブル × 1

配置例

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。(数字が付いている製品が本機の構成です。)

実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。

本機と他のナビゲーションシステム (GPS受信機) を同時に使用すると、本機のGPS受信性能に悪影響が出る場合があります。同時に使用しないでください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機は、EIAJコードカラーに対応する変更を行いました。対応に伴い、本機ではEIAJコードカラーの他に次のコードカラーも変更されています。

オートアンテナ

リモートコントロール：青 青/黒

ビーコンコントロール：青 青/白

本機と他の製品では同じ動きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ動きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けしないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

ピンクリード線の接続について

ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の3Dハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。

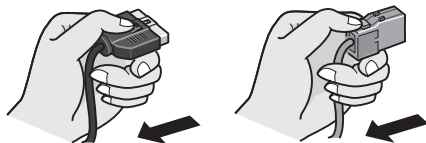
ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、誤差が大きくなる場合があります。（※『ナビゲーションブック』付録の「ナビゲーションのしくみ」）

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をお使いください。

コネクタの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続のポイント

本機と組み合わせるTVモニターについて

他社のモニターやCRT（ブラウン管）モニターはおすすめできません。画面横の表示が欠けたり、ノイズが出ることがあります。また5インチ未満のモニターでは、地図の解像度が悪くなります。

必ずワイド画面のモニターと組み合わせてください。ナビゲーションの映像は、ワイド画面専用になっています。縦横比が4:3のモニターと組み合わせると画面の両端が圧縮され、違和感ある映像になります。

他社のモニターには、ビデオ入力端子の形状やビデオ入力信号の仕様（入力レベルなど）が、本機と異なるものがあります。そのようなモニターと組み合わせる場合は変換コードが必要になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続するTVモニターによって画面がぼやけたように感じられる場合は、**TV走査方式**の**インターレース** **ノンインターレース**の切り換えを見やすい方にセットください。なお、**TV走査方式** はメインメニューの**その他の操作** **設定を変える** **その他**の中にあります。

20ピンRGBの接続について

20ピンRGBの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

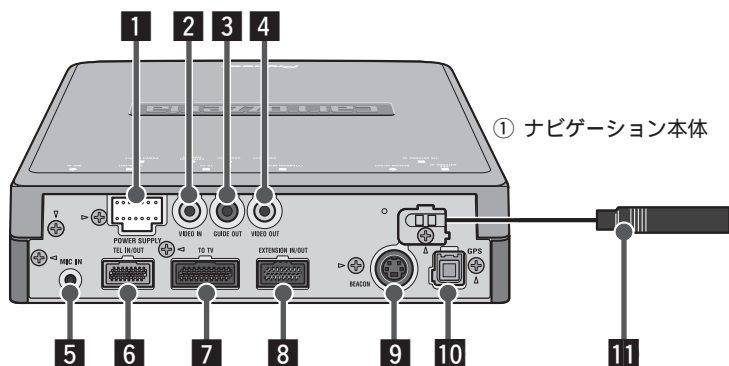
cdmaOne™用接続アダプターを別売しています

「cdmaOne™」携帯電話と組み合わせる場合は、cdmaOne™用接続アダプター「CD-H1」（別売）を使用して接続してください。

RGB/BUS変換アダプターを別売しています

P side P 8.0型ワイド液晶TVバック「TV-W808」, 「TV-W818」, 7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」と組み合わせる場合は、RGB/BUS変換アダプター「CD-RGB20P」（別売）を使用して接続してください。

接続端子のなまえと働き



1 電源

付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

2 RCA拡張ビデオ入力 (黄)

別売の外部カメラなどを接続することができます。

3 RCAガイド音声出力 (黒)

ナビゲーションのガイド音声が出力されません。組み合わせたカーステレオにガイド音声入力 (黒) がある場合で、ナビゲーションのガイド音声を、カーステレオのスピーカーからも出力したいときに、カーステレオのガイド音声入力 (黒) に接続します。

4 RCAビデオ出力 (黄)

NTSC方式の映像信号が出力されます。付属のRCAビデオコードを使用して、組み合わせるTVモニターのビデオ入力端子と接続します。それ以外は何も接続しないでください。

5 マイク入力端子 (黒)

付属のマイクを接続します。

6 電話端子 (赤)

付属の携帯電話接続ケーブルを使用して、デジタル携帯電話、またはcdmaOne™用接続アダプター「CD-H1」を使用して「cdmaOne™」携帯電話を接続します。

7 20ピンRGB出力 (黒)

RGB方式の映像信号やガイド音声などが出力されます。TVチューナーのRGB入力または受光部付スピーカー「CD-TS36」を接続します。

8 拡張入出力端子 (黒)

cdmaOne™用接続アダプター「CD-H1」を使用して「cdmaOne™」携帯電話やETCユニット「ND-ETC1」を接続することができます。

9 ビーコン受信機接続端子

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」を接続します。

10 GPSアンテナ接続端子 (緑)

付属のGPSアンテナを接続します。

従来製品 (AVIC-D919など) に付属のGPSアンテナ (灰色) とは互換性はありません。絶対に接続しないでください。

11 VICS/FM多重アンテナ接続端子

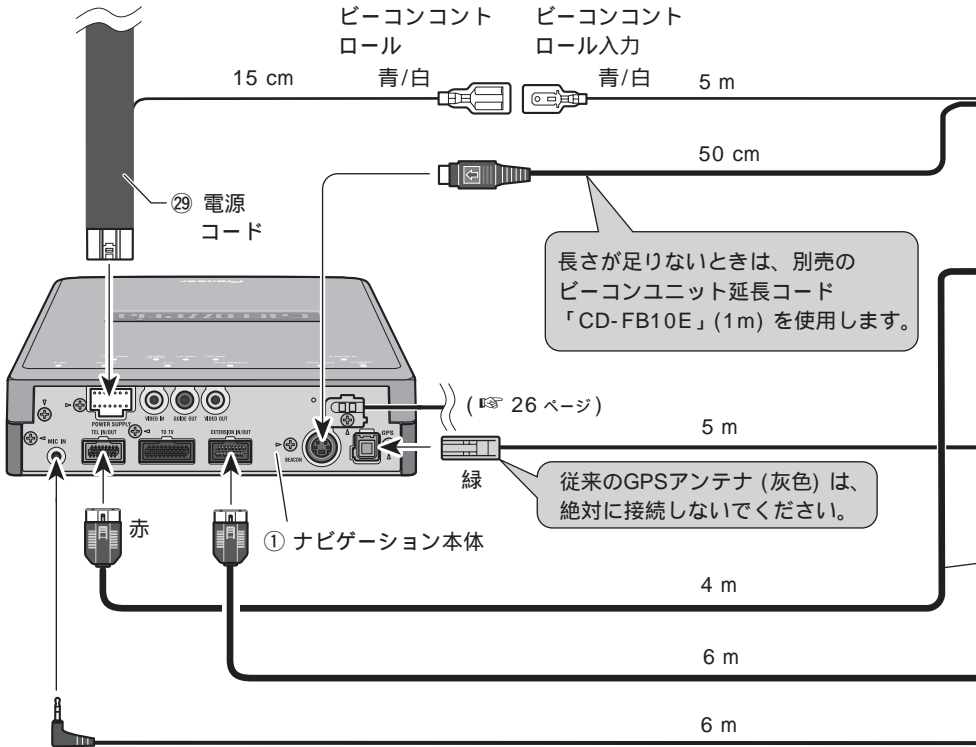
VICS/FM多重放送を受信するためのアンテナを接続します。専用のアンテナを接続する方法、車載のアンテナを接続する方法、TVアンテナを接続する方法の、3つの接続方法があります。(P.26ページ)

システムの接続

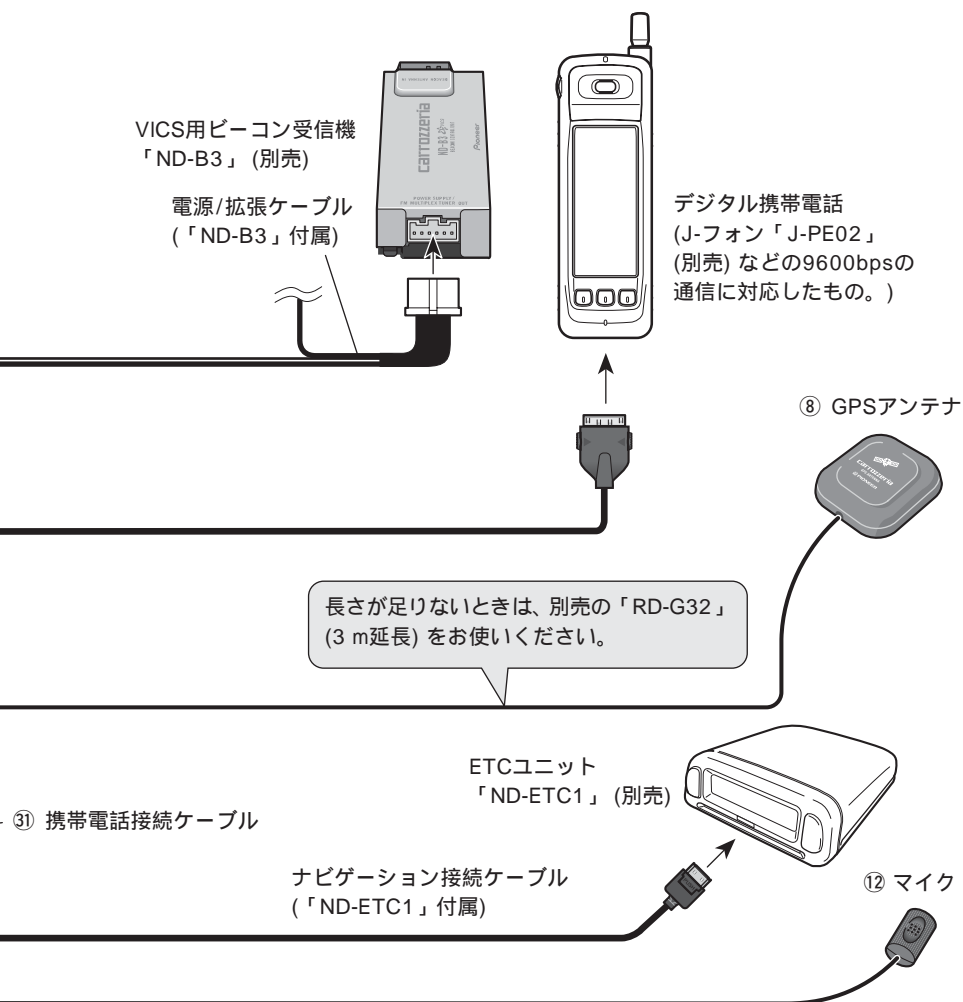
「ND-B3」

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

他のコードの接続は
(22 ~ 25 ページ)

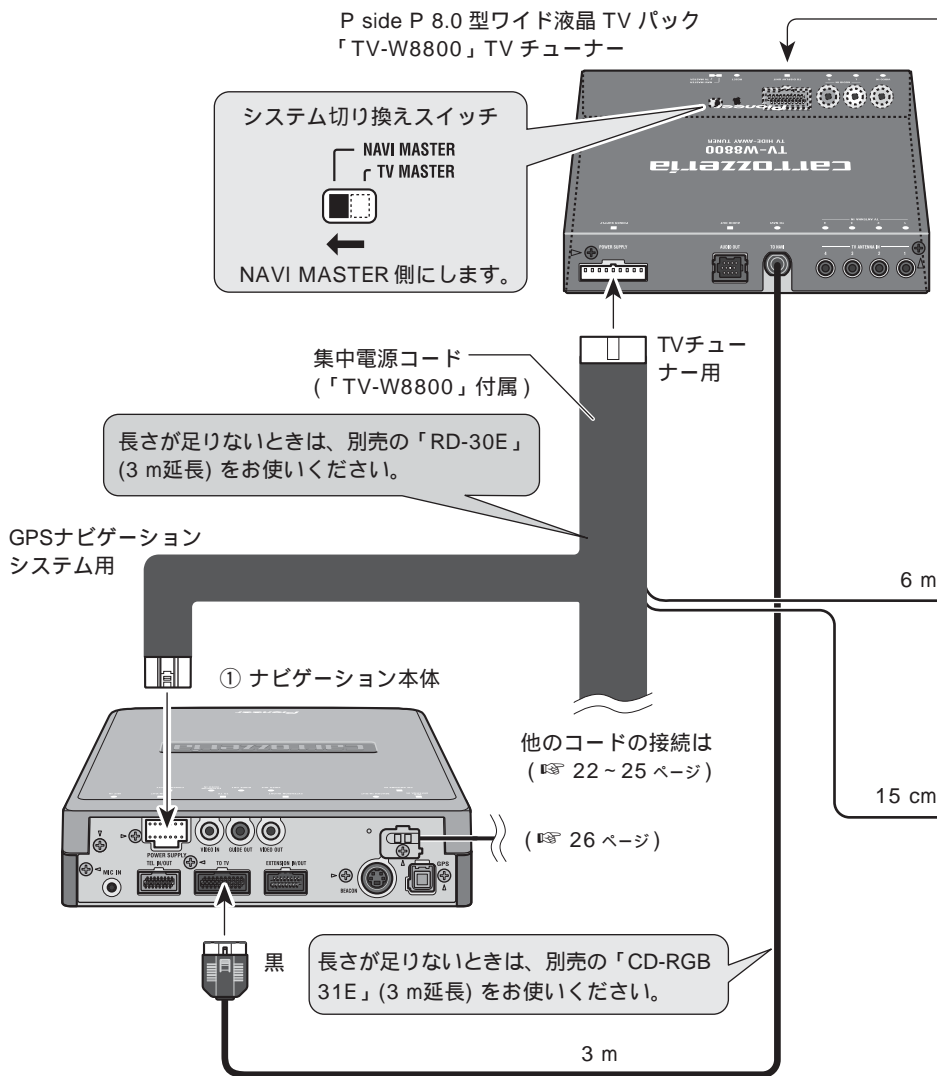


「ND-ETC1」と組み合わせた場合

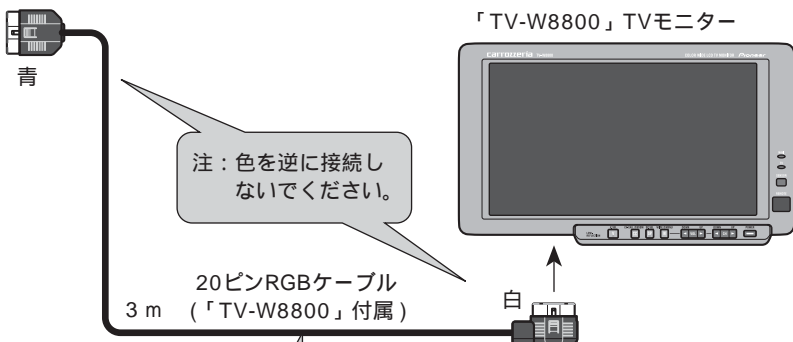


TVモニターの接続 (1)

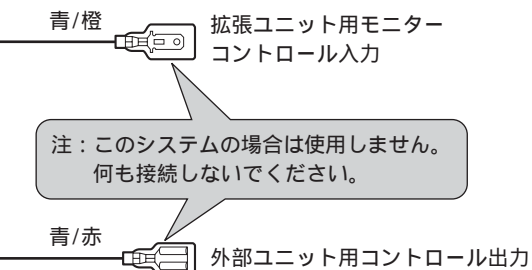
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



「TV-W8800」と組み合わせた場合

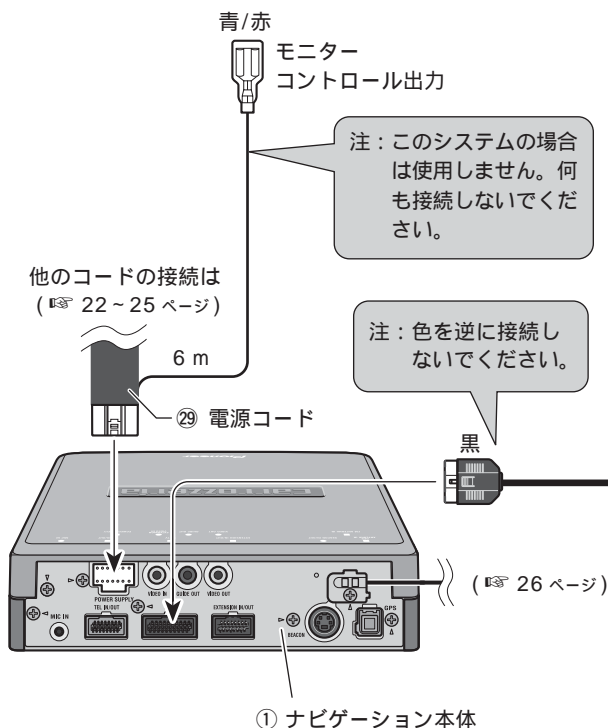


注：必ず「TV-W8800」に付属のケーブルを使用してください。コネクタの色が違うケーブルは使用できません。(長さが足りないときは、別売の「CD-RGB31E」(3 m延長)をお使いください。)

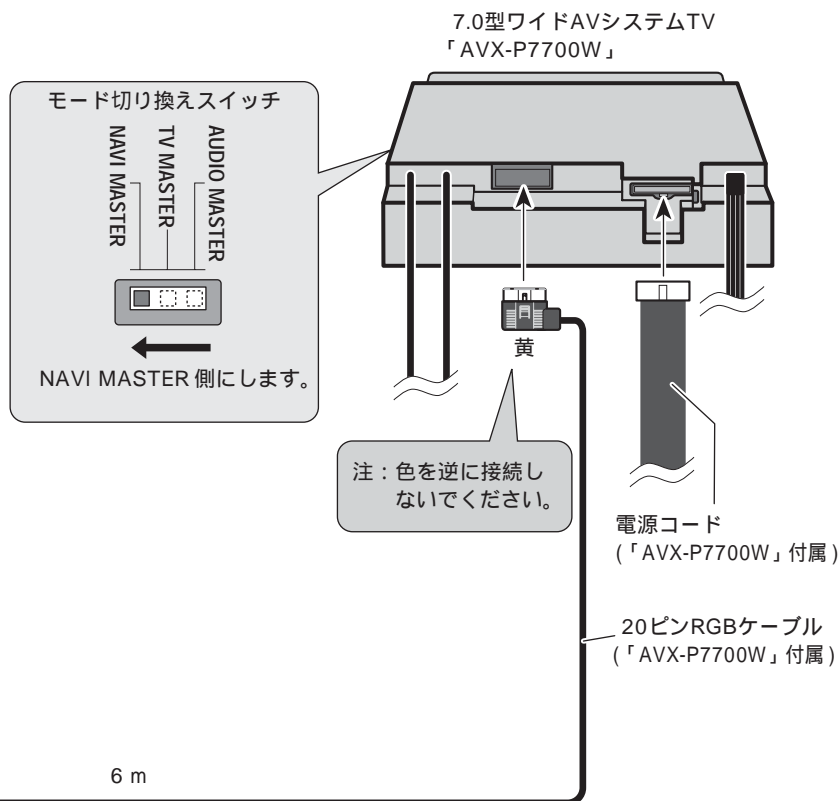


TVモニターへの接続 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

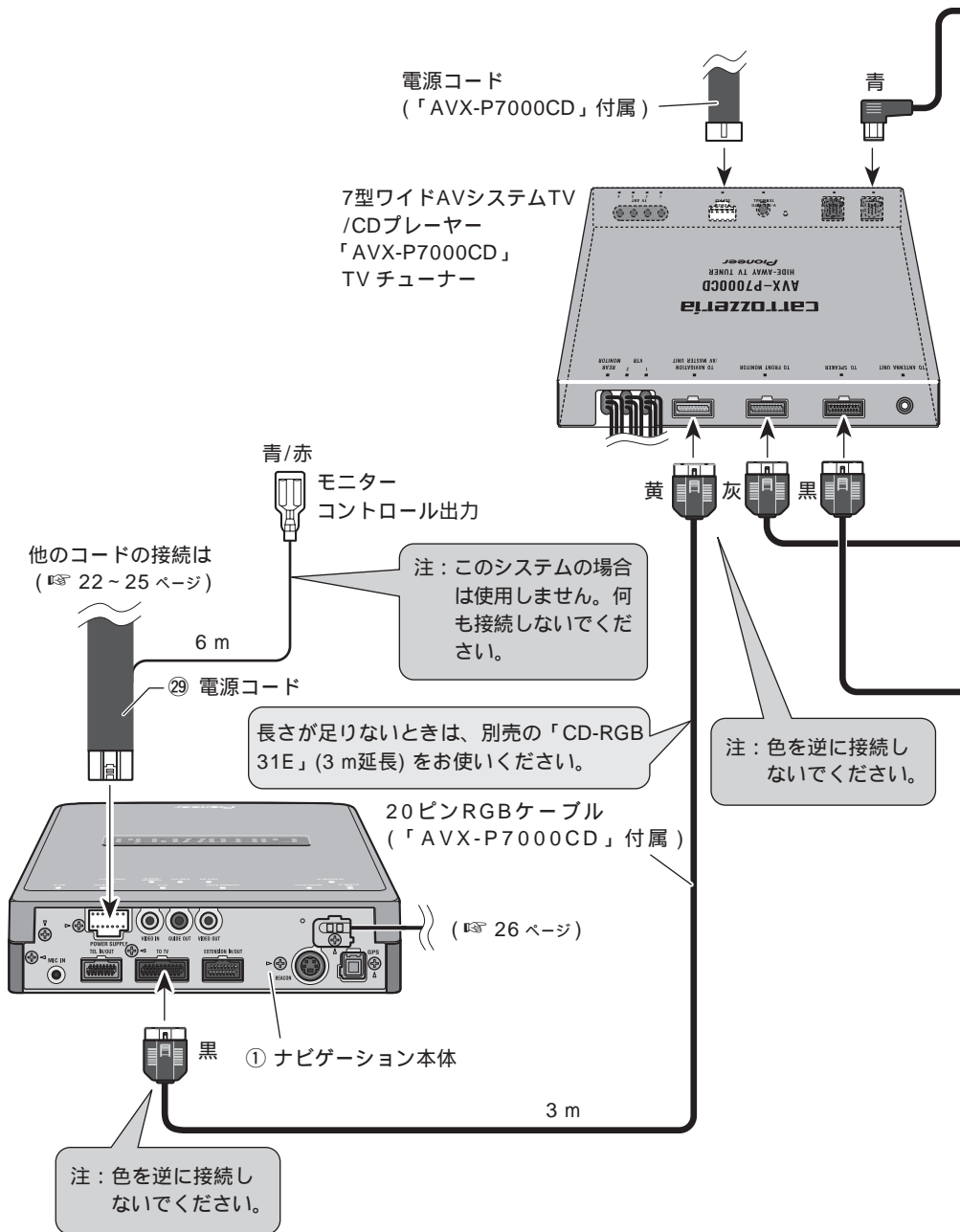


「AVX-P7700W」と組み合わせた場合

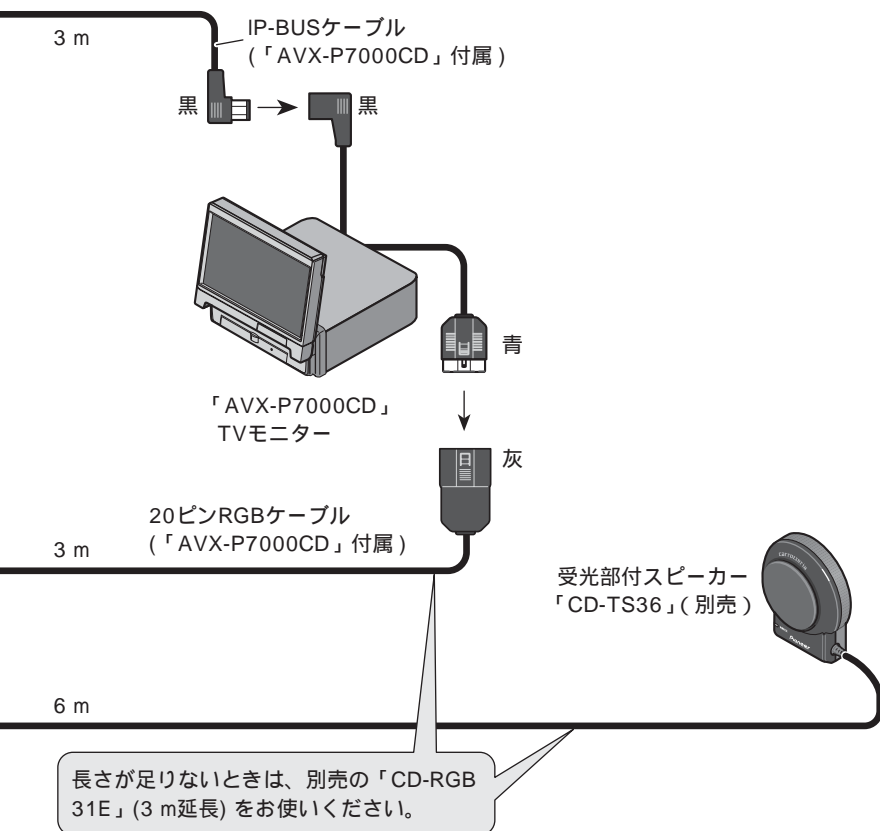


TVモニターの接続 (3)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



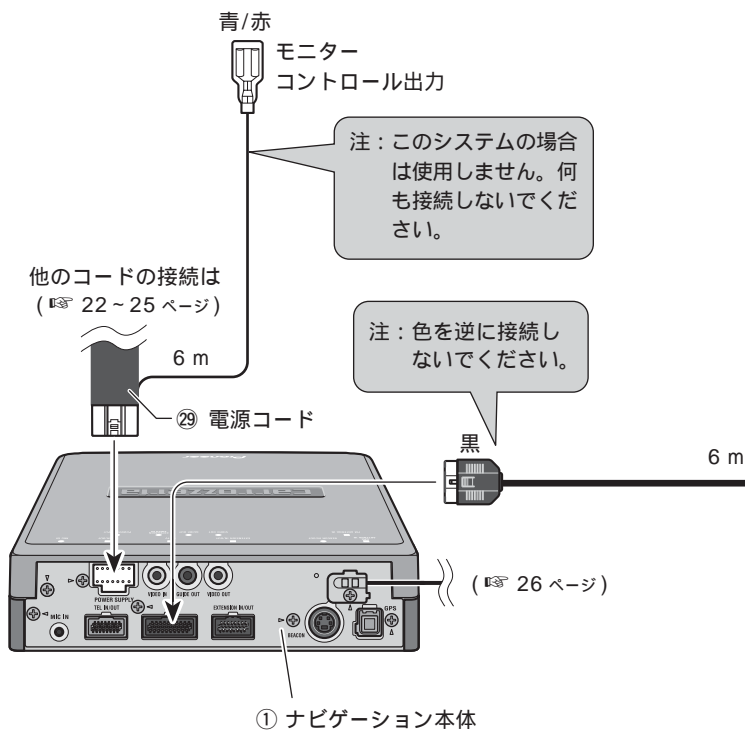
「AVX-P7000CD」と組み合わせた場合



TVモニターの接続 (4)

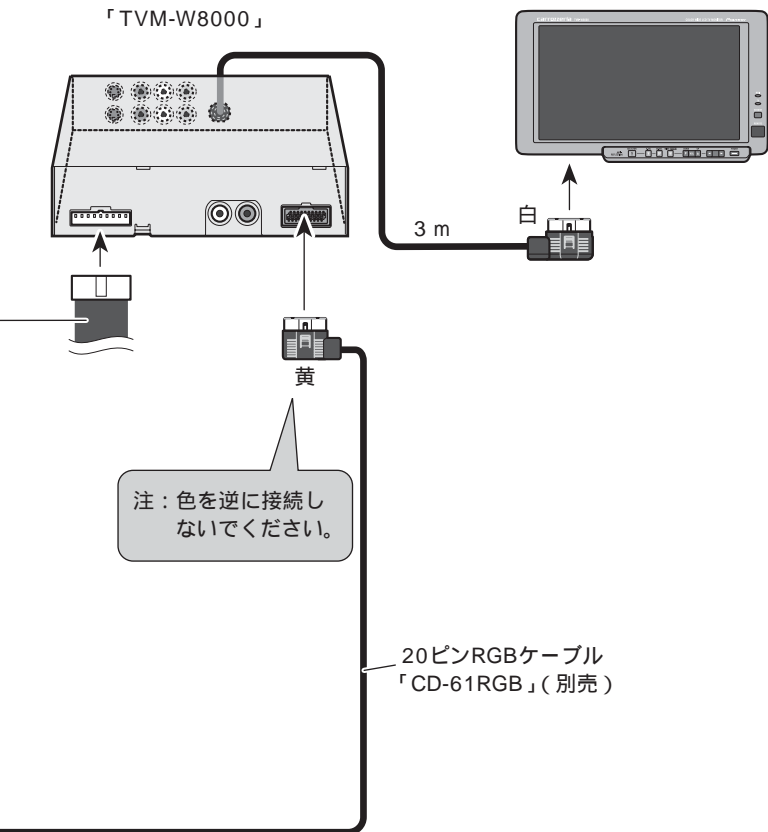
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

電源コード
(「TVM-W8000」付属)



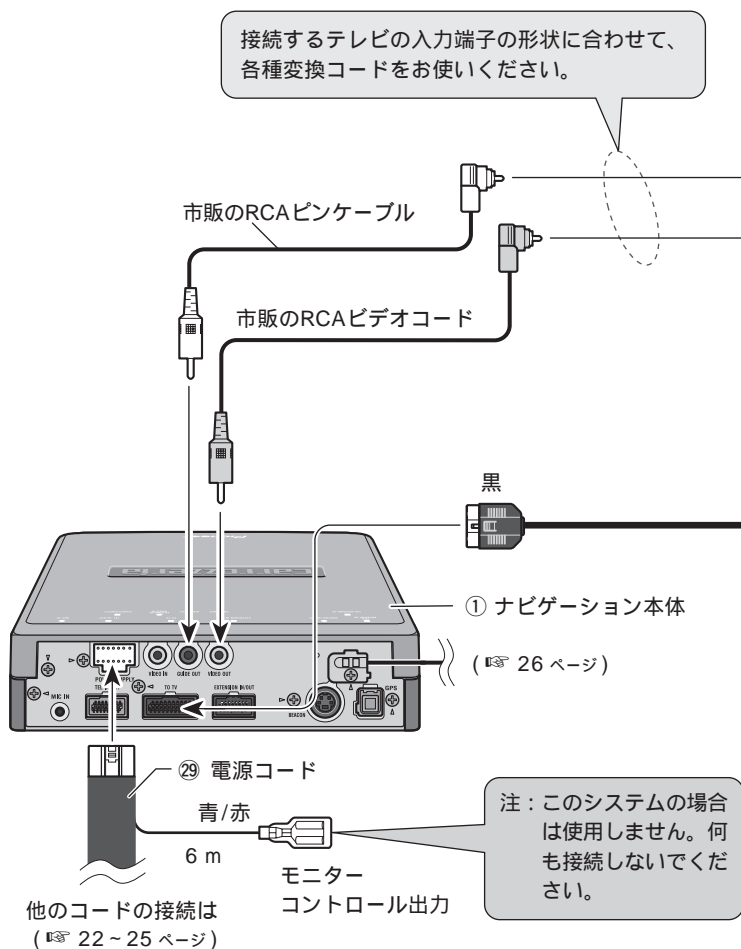
「TVM-W8000」と組み合わせた場合

8.0型液晶ワイドモニター
「TVM-W8000」



TVモニターへの接続 (5)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



他社のモニターと組み合わせた場合

ワイドTVのご注意

必ずワイド画面のモニターと組み合わせてください。ナビゲーションの映像は、ワイド画面専用になっています。縦横比が4:3のモニターと組み合わせると画面の左右が圧縮され、違和感ある映像になります。

ワイドモードは[フル](全画面均等引きのばし)にしてください。その他のモードではナビゲーションの映像が欠けてしまったり、歪んだりすることがあります。

市販のカーテレビ

音声入力へ

映像入力へ



受光部付スピーカー
「CD-TS36」(別売)



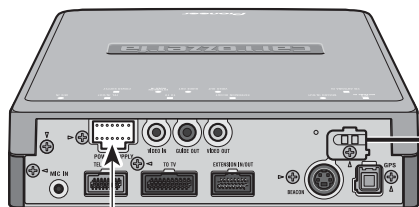
6 m

長さが足りないときは、別売の「CD-RGB 31E」(3 m延長)をお使いください。

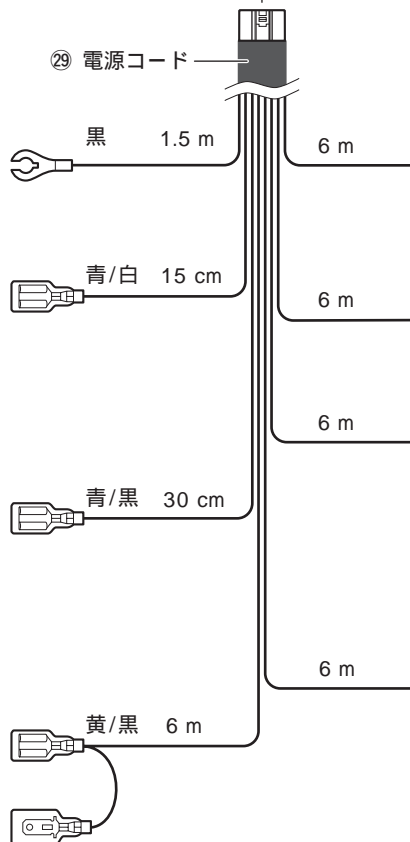
電源コードの接続 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

① ナビゲーション本体



② 電源コード



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

ビーコンコントロール

VICS用ビーコン受信機「ND-B3」(別売)と組み合わせるときに、「ND-B3」の青/白リード線(ビーコンコントロール入力)に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

オートアンテナリモートコントロール

FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続するときに、「RD-FD20」の青/黒リード線(オートアンテナリモートコントロール)に接続してください。このリード線を接続したときは、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定してください。(☞ 46ページ)

ミュート

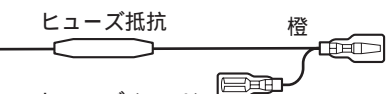
パイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線(ミュート)がある場合、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときや音声で操作するとき、ハンズフリー通話をするときに、カーステレオにオーディオミュートがかかります。(オーディオミュートをかける条件は変更することができます。詳しくは☞『ナビゲーションブック』)

)) (26 ページ)



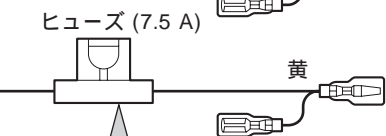
アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けないでください。バッテリー上がりの原因になります。



イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路（時計の照明回路やスモールランプ回路など）に接続してください。



+ バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



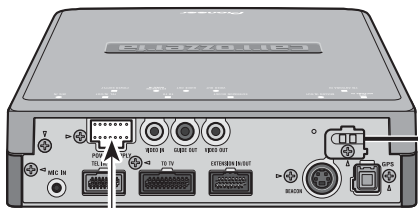
モニターコントロール出力

パイオニア製のTVモニターのON/OFFをコントロールするために使用します。（本機がONになるとコントロール信号が出力されません。）組み合わせる製品によって、接続のしかたが変わります。詳しくは組み合わせる製品の説明書をご覧ください。

電源コードの接続 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

① ナビゲーション本体



(P. 26 ページ)

② 電源コード

他のコードの接続は
(P. 22 ページ)

ピンク 6 m

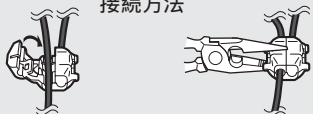
バック信号入力

バックランプの+側リード線に接続してください。この接続は車の前進後退モード切り換えを判断するためのものです。別売の外部カメラを後方監視カメラとして使用する場合や車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を使用する場合には必ず接続してください。

接続しない場合は、内蔵の加速度センサーで車の前進後退動作を判断します。この場合、外部カメラや「ND-PG1」を正しく使用することはできません。

注：車種によっては、バックランプの+/-の極性が逆になっていることがあります。紫/白リード線は、「シフトレバーをリバースの位置にしたときに、電圧が変化する」リード線に接続してください。なお、+/-が逆の場合、接続状態画面(P. 46 ページ)も逆の表示になります。

接続方法



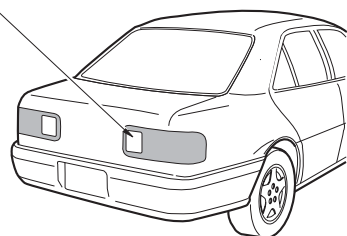
バックランプの+側リード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで強くはさむ。

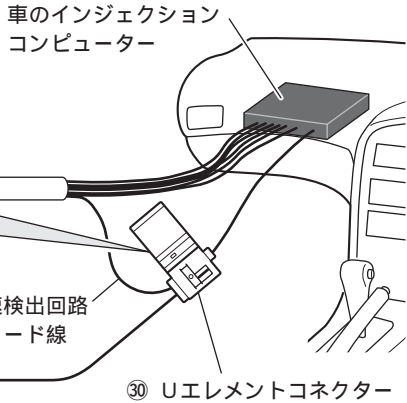
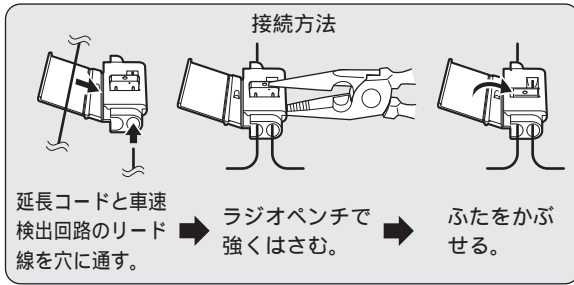
紫/白
6 m

ヒューズ抵抗

バックランプの+側リード線

バックランプ(シフトレバーがリバース[R]のときに点灯するランプ)の位置を確認し、トランク内から、バックランプの+側リード線を取り出します。





車速信号入力

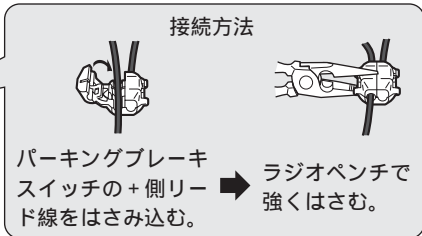
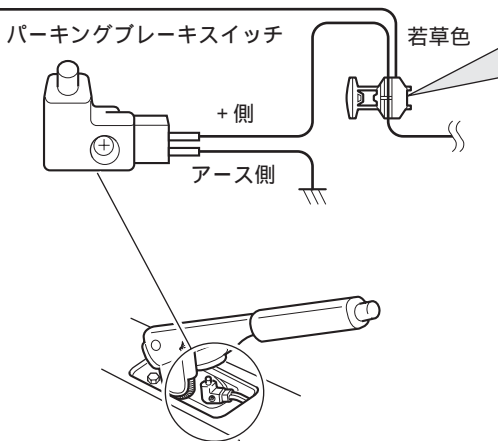
車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

インジェクションコンピューターの車速検出回路や、パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

6 m



VICS/FM多重アンテナの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

接続のポイントと接続上のご注意

TVアンテナを車室内に取り付けた場合や、別売のTVアンテナ「AN-G1」, 「AN-G2」, 「AN-G3」は、FM多重用には使用できません。接続しないでください。

電波の強い地域（首都圏中心部）ではTVアンテナを車室外に取り付けた場合に限り、FM多重用として使用できます。

電波の弱い地域（首都圏中心部以外の地域）で、TVアンテナをFM多重用として使用すると、FM多重放送を感度良く受信できない場合があります。

電波の弱い地域、またはTVアンテナを車室内に取り付けた場合には、FM多重用には、専用のアンテナ「AN-8」（別売）または「AN-F10」（別売）を接続するか、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を使用して車載のアンテナを接続してください。

車載のアンテナがガラスアンテナの場合には、車載のアンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。

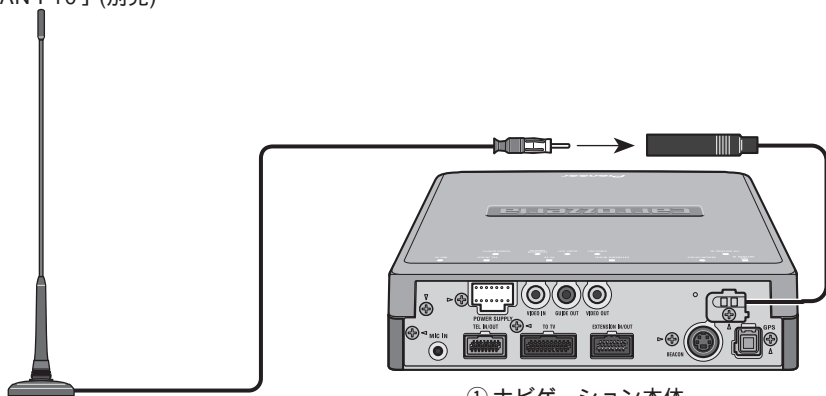
VICS/FM多重アンテナ接続端子に接続されるアンテナケーブルは、他の接続ケーブルと束ねないでください。

専用のアンテナを接続する方法

専用のアンテナ「AN-8」（別売）または「AN-F10」（別売）を接続します。

注：別売のTVアンテナ「AN-G1」, 「AN-G2」, 「AN-G3」は使用できません。接続しないでください。

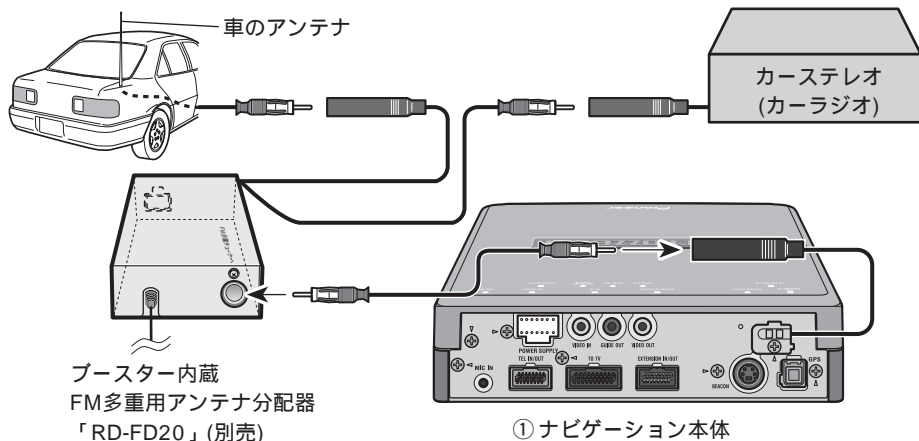
FM多重用アンテナ
「AN-F10」（別売）



① ナビゲーション本体

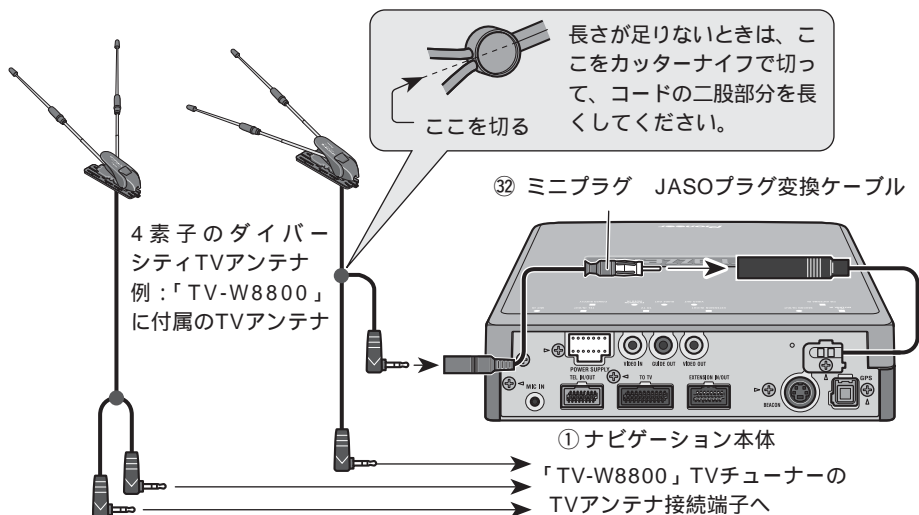
車載のアンテナを接続する方法

ブースター内蔵FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続します。車載のアンテナがオートアンテナの場合は、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定してください。(P.46ページ)



TVアンテナを接続する方法

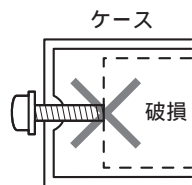
電波の強い地域で、4素子のダイバーシティTVアンテナを組み合わせる場合は、TVアンテナの1素子を接続することもできます。(TVアンテナを車室外に取り付けた場合に限りです。)



取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずを外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

ナビゲーション本体の取り付けについて

2つの取り付け方法があります

トランク内の床に取り付ける方法

粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けことができますが、取り付け強度はトランク内の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

トランク内の取付ボードに取り付ける方法

トランク内に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。

ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。

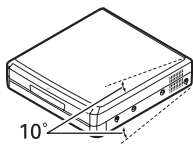
しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。

荷物などが当たる場所には取り付けしないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

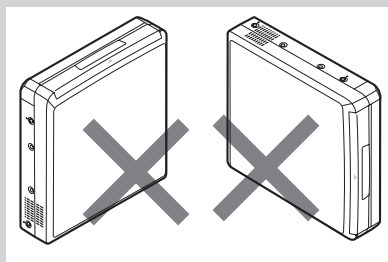
スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。また、DVD-ROMディスクおよびPCカードが出し入れできることを確認してください。

上下の傾きは、水平に対して、10度以内の角度で取り付けてください。角度が大きくなると、現在地を正しく表示できなくなります。

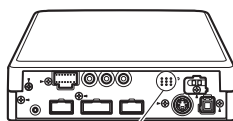


ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。

縦置きしないでください。故障の原因となります。また、裏返して取り付けしないでください。

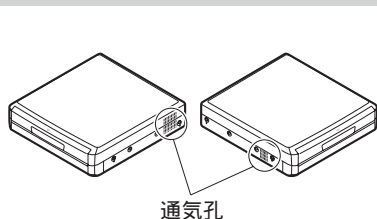


ナビゲーション本体には音声認識用のノイズマイク（車内の雑音を検知するマイク）が内蔵されています。ノイズマイクの内蔵部分にカーペットなどをかぶせないでください。ノイズマイクの働きが悪くなります。



ノイズマイク

内部の温度上昇を防ぐため、本体側面に通気孔が開けてあります。この通気孔を塞がないでください。



通気孔

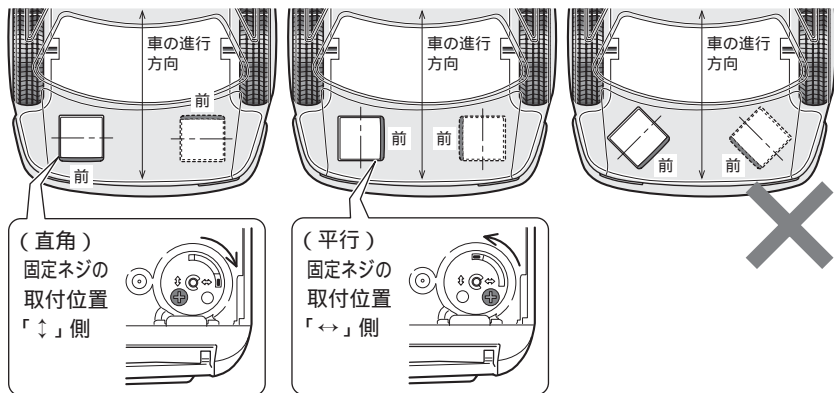
ナビゲーション本体の取り付け

つづき

取り付ける向きについてのご注意

ナビゲーション本体の左右が、車の進行方向に対して直角または平行になるように取り付けてください。斜めには取り付けしないでください。車の進行方向に対して斜めに取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。

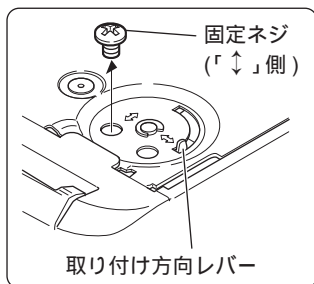
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、内蔵のGセンサーを正しく動作させるため、必ず本体底面の取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に取り付けください。



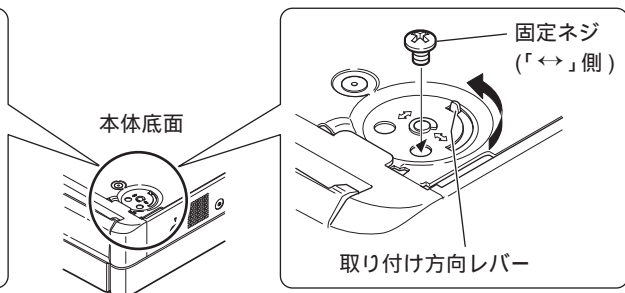
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、本体底面の固定ネジを取り外して取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↑」側から「↔」側に取り付けなおしてください。「↑」側に取り付けたままだと、内蔵のGセンサーが正しく動作しません。

1 取り付け方向レバーの固定ネジを取り外す



2 レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に締める

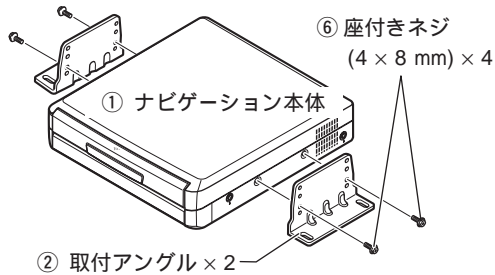
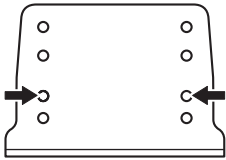


取付アングルを取り付ける

取付アングルをナビゲーション本体に取り付ける

ナビゲーション本体を車に取り付けるために、取付アングルをナビゲーション本体に取り付けます。

取付アングルの次の穴を使用します。

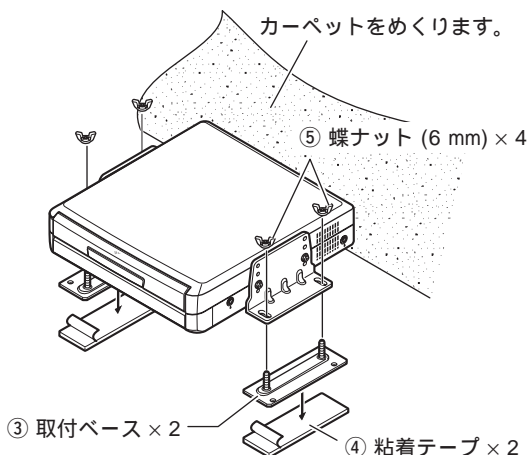


ナビゲーション本体の取り付け

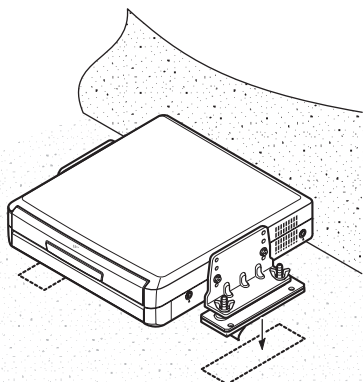
つづき

トランク内の床に取り付ける場合

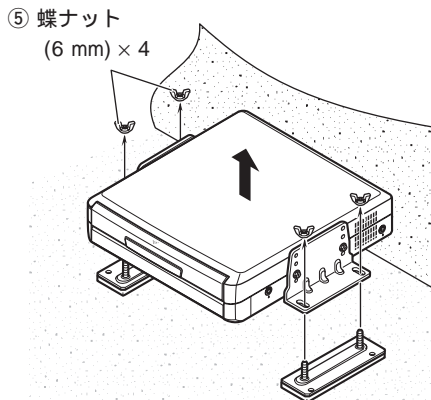
1 取付アングルに取付ベースを取り付ける



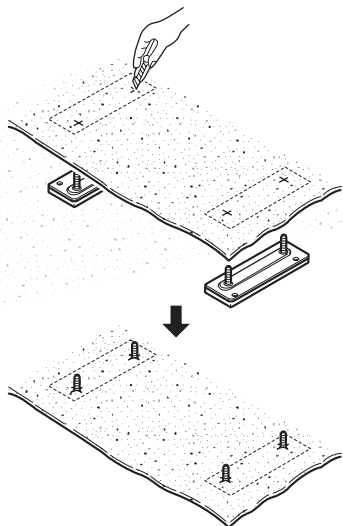
2 取り付け位置を決め、粘着テープを貼る



3 蝶ナットを外し、本体を一度取り外す

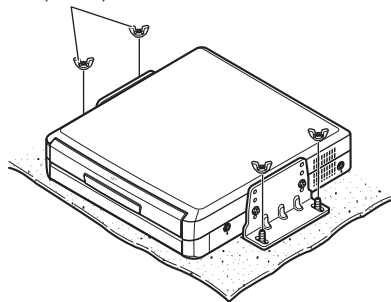


4 カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す



5 本体を取り付け、しっかり固定する

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4



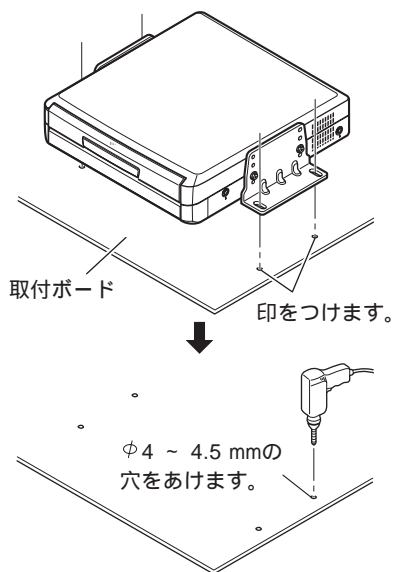
取り付けかた

ナビゲーション本体の取り付け

つづき

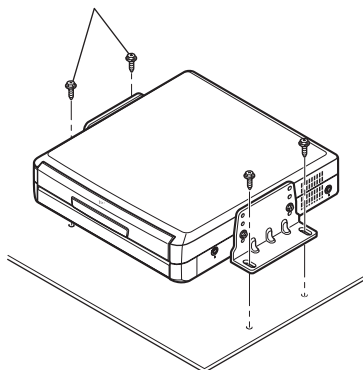
トランク内の取付ボードに取り付ける場合

1 取り付け位置を決め、 穴を開ける



2 タッピングネジで、 しっかり固定する

⑦ タッピングネジ (6 × 16 mm) × 4

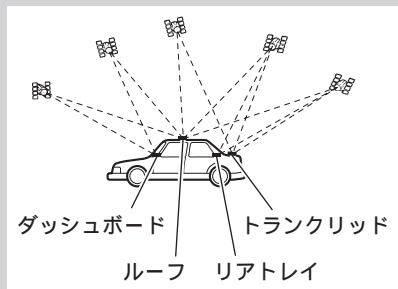


取り付けかた

GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くときも、ナビゲーション本体から30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。

GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

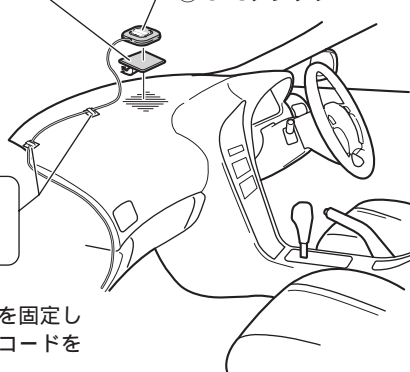
GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

車内(ダッシュボードやリアトレイの上)に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

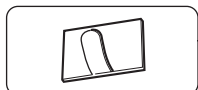
- ⑨ 金属シート
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。

⑧ GPSアンテナ



メモ

車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。

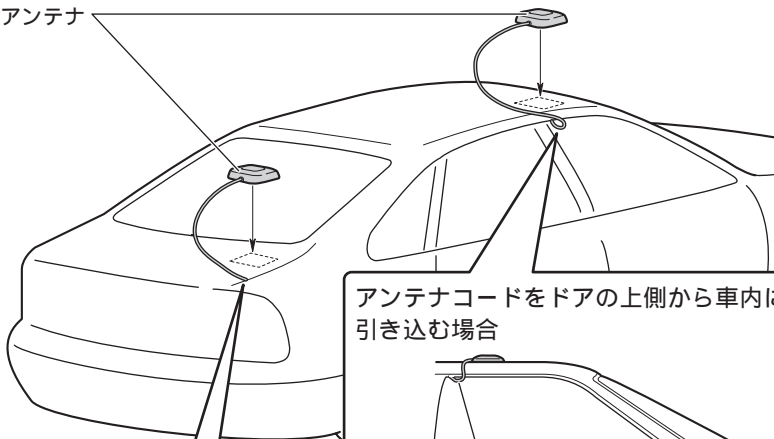


- ⑩ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

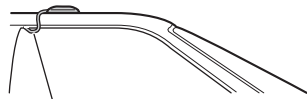
車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

⑧ GPSアンテナ



アンテナコードをドアの上側から車内に引き込む場合

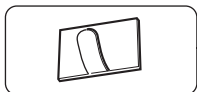


雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードを外側でU字形に曲げます。



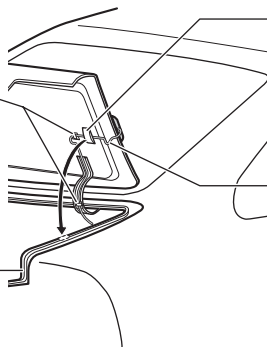
⑩ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

アンテナコードをトランク内に引き込む場合



⑩ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



⑪ 防水パッド
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

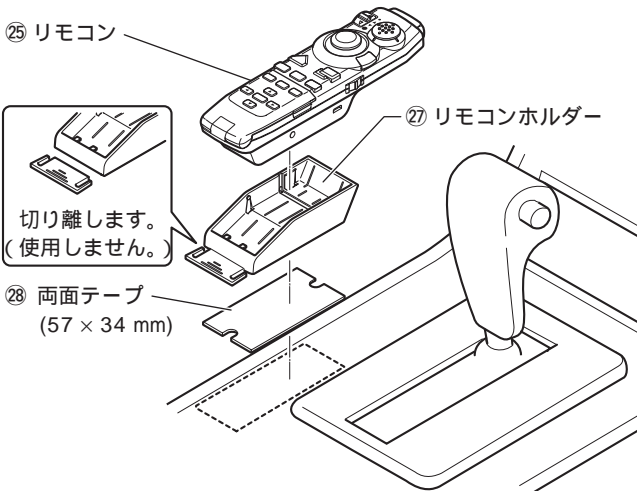
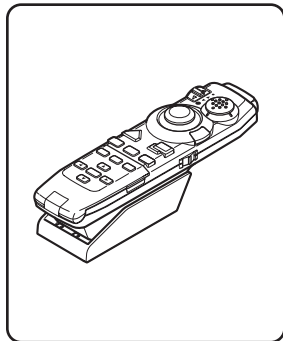
雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

リモコンの取り付け

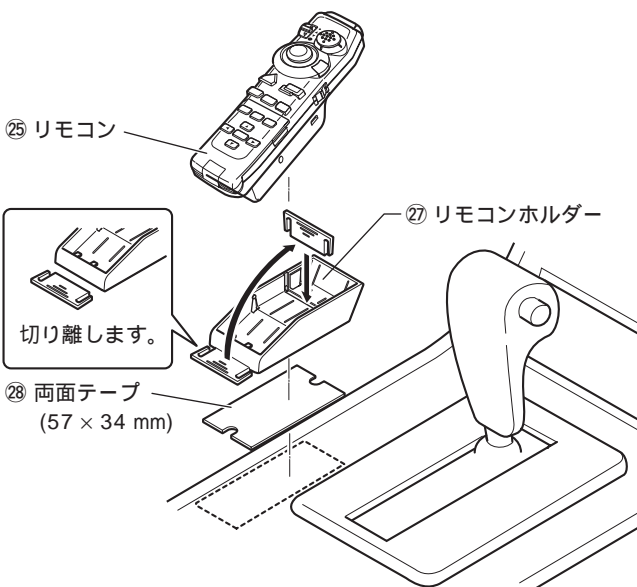
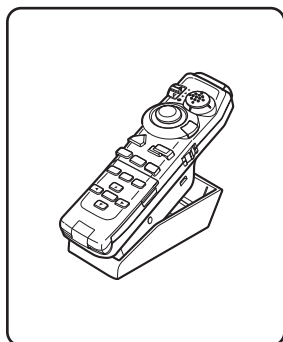
両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープ (57 × 34 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。

水平にセットする場合



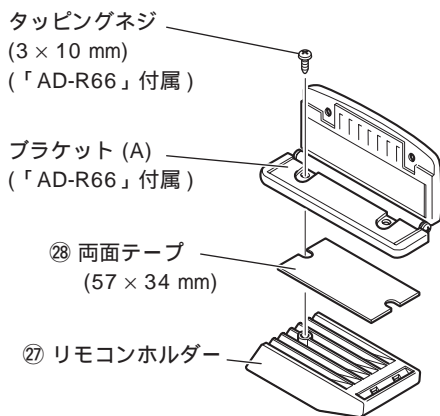
上向きにセットする場合



別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

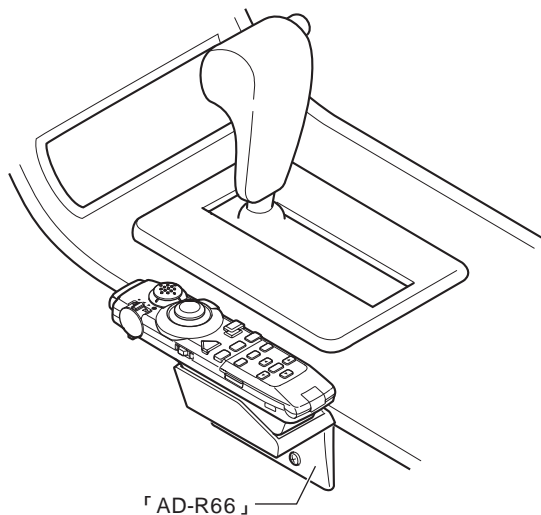
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を 車に取り付ける

「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



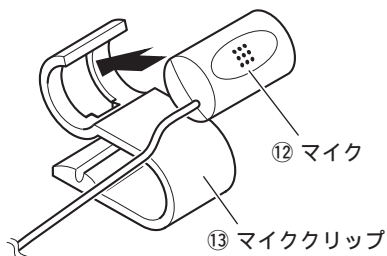
マイクの取り付け

取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。

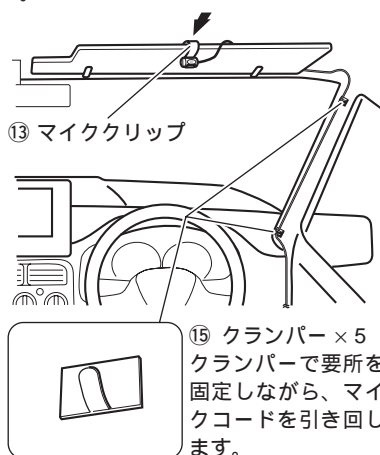
サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



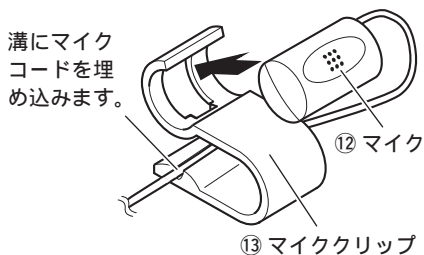
2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、正しく音声認識されません。



ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップにマイクを取り付ける



2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける



⑮ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。



音声認識コントローラーの取り付け

取り付け上のご注意

エアバックなどの車の安全装置が働いたときに、その動作の妨げになる場所には絶対に取り付けないでください。

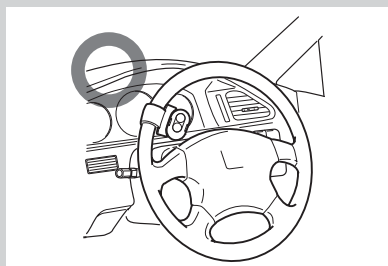
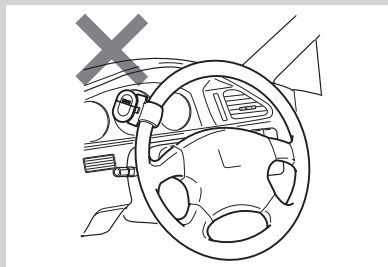
車のメーター類の、視認の妨げになる場所には取り付けないでください。

取り付ける位置や向きによっては、音声認識コントローラーの信号がリモコン受光部にとどかない場合があります。固定する前に、取り付けの位置で、動作確認を行ってください。(動作しない場合は、コントローラーの上下や裏表を逆にしてみてください。それでも動作しない場合は、取り付け位置を変えてください。)

ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの左または右側のリモコン受光部に近い方(右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側)に取り付けてください。逆側に取り付けると、音声認識コントローラーの信号がリモコン受光部にとどかないため、動作しないことがあります。

ハンドルに取り付けるときは、付属のベルトでしっかりと固定してください。しっかり固定しないと、運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。

ハンドルに取り付けるときは、ハンドルの外側に取り付けしないでください。運転操作の邪魔になり、交通事故の原因となります。必ずハンドルの内側に取り付けてください。

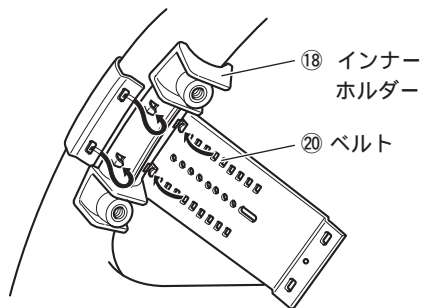


音声認識コントローラーの取り付け

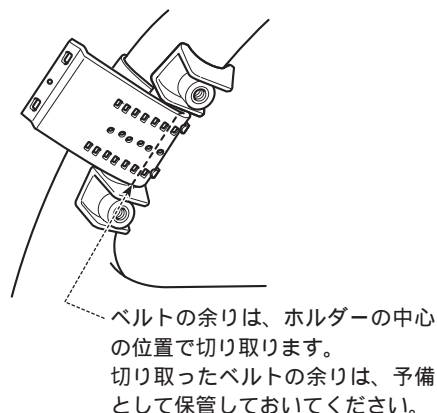
つづき

ハンドルに取り付ける場合

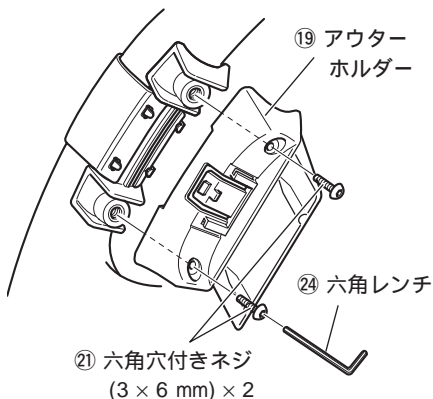
1 ハンドルにインナーホルダーを取り付ける



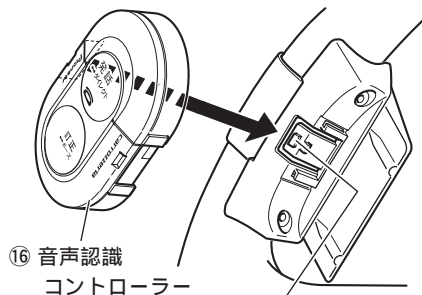
2 ベルトの余りを切り取る



3 インナーホルダーにアウターホルダーを取り付ける



4 音声認識コントローラーを取り付ける



音声認識コントローラーを取り外すときは、ここを押しながら、音声認識コントローラーを手前にスライドさせます。

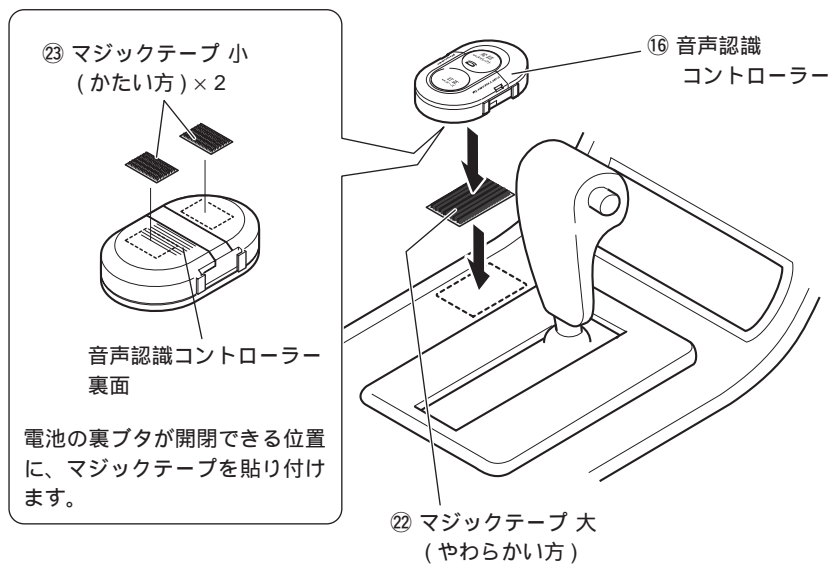
メモ

上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車に取り付ける場合は左右逆に取り付けてください。

ハンドルの太さによっては、切り取ったベルトの余りが、使えない場合があります。

マジックテープで取り付ける場合

付属のマジックテープ 小 (かたい方) を音声認識コントローラーの裏面に、マジックテープ 大 (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付けます。



接続の確認とセンサーリセット

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、はじめに接続の確認、センサーのリセットを行ってください。

ジョイスティックと
決定ボタン

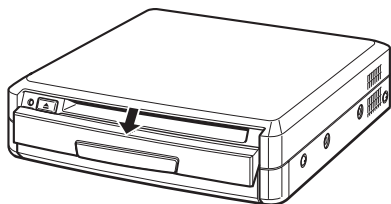


リモコンをお使いになる前に、「スタートブック」の「準備1：リモコンの準備をする」をご覧ください、リモコンの設定スイッチを正しく設定してください。

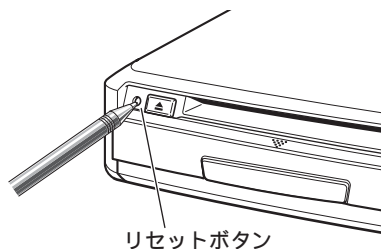
1 車のエンジンを
かける



2 フロントドアを
開ける

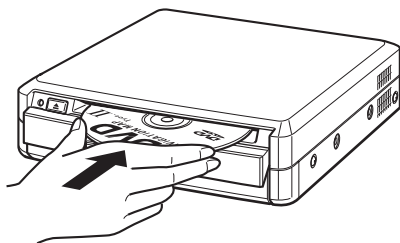


3 ボールペンの先などで、
本機のリセットボタンを押す



リセットボタン

4 ナビゲーション本体に
ディスクをセットする



動作開始までに、一度自動的に電源がON/OFFしますが、故障ではありません。

5 接続を確認して、
センサーリセットを行う

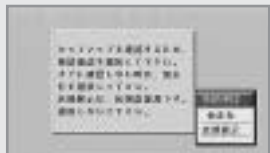
(次ページ)

を行う

接続を確認して、センサーリセットを行う

センサーが一度もリセットされていないと、次のような画面になります。

接続確認 を選び、決定ボタンを押してください。[接続状態を見る] 画面になりますので、以下の説明を参考にして本機の接続状態を確認します。



確認が終わったら、必ずセンサーリセットを行ってください。
(『スタートブック』24ページ)

接続確認画面の見かた

車速パルス：車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発音音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5 km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK] が、未接続の場合には [NG] が表示されます。

その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合には、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。GPSアンテナの取り付け上のご注意（『36ページ』）を参照して、取り付け位置を確認してください。

取付け位置：ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。停車時に [NG] が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、停車時に [OK] が表示されるのを確認してください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキスイッチ（青/黄リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [OFF]、かけ直すと [ON] が表示されます。

電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンアイドル時に11～15 Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を再度確認してください。また、表示誤差（±0.5 V程度）があるため、この表示は参考値です。

接続の確認とセンサーリセットを行う

つづき

イルミネーション：イルミ電源（橙リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [ON]、消すと [OFF] が表示されます。

ビーコンユニット：VICS用ビーコン受信機「ND-B3」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [NG] が表示されます。

ETCユニット：ETCユニット「ND-ETC1」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [NG] が表示されます。

バック信号：バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。この接続は車の前進後退モード切り換えを判断するためのものです。特に別売の外部カメラを後方監視カメラとして使用する場合や車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）と接続した場合は、必ずバック信号入力を接続してください。

接続しない場合は、内蔵の加速度センサーで車の前進後退動作を判断しています。この場合は、外部カメラや「ND-PG1」を正しく使用することはできません。

接続したら、パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでから次の操作を行ってください。シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認してください。

本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナを上下させるには

FM多重用のアンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続した場合は、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定します。

10キーカスタマイズの「オートアンテナを上下する」を10キーのいずれかに割り当てて、オートアンテナを上下する設定に切り換えてください。（出荷時はオートアンテナが上下しない設定になっています。）（『ナビゲーションブック』Chapter 10の「10キーをカスタマイズする」）

